

## 泉川流域の両生類・爬虫類

福田 保<sup>1)</sup>・澤田研太<sup>2)</sup>・亀谷三志<sup>3)</sup>・南部久男<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>〒939-2187 富山市猪谷1541

<sup>2)</sup>〒930-0116 富山市追分茶屋90-1

<sup>3)</sup>氷見市海浜植物園 〒935-0031 氷見市柳田3583

<sup>4)</sup>富山市科学博物館 〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

### Amphibians and reptiles from Izumigawa River, Himi-shi and Takaoka-shi, Toyama Prefecture, central Japan

Tamotsu Fukuda<sup>1)</sup>, Kenta Sawada<sup>2)</sup>, Mitsushi Kameya<sup>3)</sup> and Hisao Nambu<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>1541 Inotani, Toyama-shi, Toyama 939-2187, Japan

<sup>2)</sup>Toyamaken Doubutsu Seitai Kenkyukai, 90-1 Oiwakejaya, Toyama-shi, Toyama 930-0116, Japan

<sup>3)</sup>Himi Seaside Botanical Garden, 3583 Yanagida, Himi-shi, Toyama 935-0031, Japan

<sup>4)</sup>Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakanomachi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

要約：富山県西部の泉川流域での両生類・爬虫類調査を行い、両生類9種、爬虫類10種が確認された。いずれも富山県の平野部から低山の代表的な種であった。両生類は、平野部ではニホンアマガエル、ウシガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの4種が、低山の水田や沢でヒダサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエルの5種が確認された。調査流域にはため池が多く、クロサンショウウオやモリアオガエルの産卵が確認された。爬虫類は、ニホンカナヘビが河口から低山の広い範囲で確認された。外来種のミシシッピアカミミガメが調査した多くの場所（ため池や用水、泉川本流）で確認され、在来水生生物への影響が懸念される。

### はじめに

富山県生物学会の泉川流域総合調査の一環として、両生類・爬虫類調査を行ったので報告する。

### 調査地点および調査方法

泉川は、氷見市と高岡市の境界に位置する大師ヶ岳（標高254m）の南東部の谷を源（標高約120m）とし、急な谷を下りその後台地の間を北流し、氷見市島尾で富山湾に注ぐ約6.0kmの二級河川である。支流は左岸側に二上山を源とする小竹川、右岸側に島尾大池をもつ新川などがある。下流の水田が広がる平野部では天井川で河川の氾濫も繰り返し起き、丘陵帯にはかんがい用のため池が多い。

調査は2016年9月～2017年9月に実施した。両生類、爬虫類の調査は河川と周辺の水田やため

池、林道で行った。林道は高岡市西田から二上山への、山麓の竹林の間の道である。種の確認は、個体や卵塊の目撃、カエル類は鳴き声を参考ににした。

### 結果及び考察

#### 両生類

確認された両生類は、クロサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、ウシガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエルの9種である（表1, 2）。レッドデータ（環境省, 2014; 富山県, 2012）に記載されている絶滅の恐れのある種は、クロサンショウウオ（環境省, 準絶滅危惧）、ヒダサンショウウオ（環境省,

表1 泉川流域で確認された両生類・爬虫類

両生類						
目	科	和名	平野部 (~上泉)	低山(水田や 集落周辺を 含む) (上泉~)	林道	池
有尾目	サンショウウオ科	クロサンショウウオ				○
		ヒダサンショウウオ		○		
無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	○	○		○
		ニホンアカガエル		○		○
	アカガエル科	ヤマアカガエル		○		○
		ウシガエル(*)	○			○
		トノサマガエル	○	○		○
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○			
		モリアオガエル				○
種数		9	4	5	0	7
爬虫類						
カメ目	イシガメ科	クサガメ	○			○
	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ(*)	○			○
有鱗目	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ	○			
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○	○
		ジムグリ		○		
	ナミヘビ科	アオダイショウ	○			
		シマヘビ	○			○
		ヒバカリ	○			
		ヤマカガシ				○
	クサリヘビ科	ニホンマムシ				○
種数		10	7	2	3	5

(\*) 外来種

準絶滅危惧;富山県, 準絶滅危惧)、トノサマガエル(環境省, 準絶滅危惧;富山県, 準絶滅危惧)の3種であった。ウシガエルは環境省の特定外来生物に指定されている。

平野部の水田や用水ではニホンアマガエル、ウシガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの4種が確認された。河口部に広がる砂浜ではニホンアマガエルが確認された。国道415号と田子台地の間に広がる水田は圃場整備され用水も三面コンクリート護岸されているためか、両生類の個体数は少なかった。シュレーゲルアオガエルの卵塊と鳴き声は、島尾大池の下の水田で5月に確認されたが、泉川流域の平野部から山麓の広い範囲で生息しているものと思われる。

氷見市上泉より上流では、水田でニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエルが確認され、泉川最上流の沢ではヒダサンショウウオの幼生とトノサマガエルが確認された。ヒダサンショウウオは環境省と富山県で準絶滅危惧に指定されている種で、森林伐採、林道や河川工事による生育環境の悪化と個体数の減少が心配される種である。1か所で幼生が確認されたが、泉川本流や支流上流の谷では護岸整備や堰が設けられており、生息環境は悪化しているものと思われる。

丘陵帯のため池では、クロサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、ウシガエル、トノサマガエル、モリアオガエルの7種が確認された。氷見市宮田の乱橋池周辺ではこの7種すべてが確認された。乱橋池周辺は「トンボの楽園」として国の補助を受け平成7~15年に整備され、翌16年に地区住民を中心とした「乱橋池周辺のトンボと自然を守る会」が結成され、観察会や草刈りなどの活動が継続されてきた。両生類にとっても生息しやすい環境になっていると思われる。モリアオガエルの卵塊数は17個であったが、池の大きさに比べると卵塊数は少ないと思われる。

西岡(2011)は二上山塊(高岡市・氷見市)で12種の両生類と10種の爬虫類を確認している。そのうち、今回の調査で確認できなかった両生類は、ホクリクサンショウウオ、アカハライモリ、アズマヒキガエルの3種である。二上山塊のホクリクサンショウウオの生息地は限られ、今回の調査範囲内には生息しないと思われる。一方、今回確認できなかったアカハライモリとアズマヒキガエルは、個体数は少ないものの生息していると思われる。

今回確認された両生類は、いずれも富山県の平野部から低山の代表的な種である。また、今回の調査結果は、これまで富山県生物学会が行ってきた調査地と比較すると、今回の調査地はため池が多く、クロサンショウウオとモリアオガエルの産卵や外来種のウシガエルを確認し、今まで行った県西部の氷見市の余川川と仏生寺川、小矢部市の渋江川流域の調査結果と類似している。

#### 爬虫類

今回の調査で、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、ジムグリ、アオダイショウ、シマヘビ、ヒバカリ、ヤマカガシ、ニホンマムシの10種の爬虫類が確認された(表1)。

カメ類ではクサガメとミシシッピアカミミガメが泉川本流と用水、ため池で確認された。

トカゲ類では、ヒガシニホントカゲを海浜植物園の散策道で確認した。ニホンカナヘビは、河口部の砂浜、平野部から低山の水田、林道、ため池の広い範囲で確認された。ヘビ類では、アオダイショウは砂浜、ヒバカリは川、ヤマカガシはため池のそば、ジムグリとニホンマムシは畑の道脇で確認し、特にシマヘビは平野部の川から丘陵帯の

ため池までの広範囲で確認された。

今回の調査で確認された爬虫類は、いずれも富山県の平野部から低山の代表的な種である。ミシシippアカミミガメはクサガメより広範囲で確認され、ほとんどのため池で生息確認された。このミシシippアカミミガメは、過去の水見市内での小河川の調査では、余川川では発見されていない

表2 泉川流域で確認された両生類・爬虫類

種名	確認年月日	時間	確認場所			3次メッシュ			標高	確認物	環境等
			市町村	地名	詳細	N	4次メッシュ	分			
クロサンショウウオ	20170312	12:50	水見市			14			10	卵囊110	池
クロサンショウウオ	20170327	12:00	高岡市			14			45	卵囊16	池
クロサンショウウオ	20170709		水見市			14			110	幼生2	沢
ニホンアカガエル	20170615	14:10	水見市	富田		14	5537-1070	A	7	5	田
ニホンアカガエル	20170702	9:00	水見市	富田	トホ池	14	5537-1070	B	8	1	池
ニホンアカガエル	20170624		水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	8	幼体多
ニホンアカガエル	20170327	10:30	水見市	富田	トホ池	14	5537-1070	D	10	10	卵塊30
ニホンアカガエル	20170312	10:30	水見市	富田	湧き水の池	14	5537-1070	D	10	卵塊2	池(水深4.9℃)
ヤマアカガエル	20170615	14:10	水見市	富田		14	5537-1070	A	7	5	田
ヤマアカガエル	20170312	12:50	水見市	富田	日向の池	14	5537-1070	D	10	卵囊5	池(水深16.5℃)
ウシガエル	20170615	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	鳴き声	田の用水
ウシガエル	20170528	13:30	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	1	幼生多
ウシガエル	20170528	12:30	水見市	鳥尾	鳥尾小池	14	5537-1071	A	11	11	幼生多数
ウシガエル	20170506	11:40	水見市	鳥尾	新池	14	5537-1071	A	12	2	幼生2
ウシガエル	20170528	13:00	水見市	鳥尾	新池	14	5537-1071	A	12	12	幼生多数
ウシガエル	20170528	14:00	高岡市	太田	ため池	14	5537-1061	A	39	2	幼生多
トノサマガエル	20170528	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	5	田の用水
トノサマガエル	20170930	15:00	水見市	鳥尾	大池の下	14	5537-1070	B	6	2	田の用水
トノサマガエル	20170615	14:10	水見市	富田		14	5537-1070	A	7	5	田
トノサマガエル	20170702	9:00	水見市	富田	トホ池	14	5537-1070	B	8	2	池
トノサマガエル	20170615	15:00	水見市	上泉		14	5537-1080	C	12	5	川原
トノサマガエル	20170709		水見市	小竹	針状谷	14	5537-1051		110	1	沢
ジュレールアオガエル	20170506	12:00	水見市	鳥尾	大池の下	14	5537-1070	B	6	6	卵塊10,鳴き声
モリアオガエル	20170702	9:00	水見市	富田	トホ池	14	5537-1070	B	8	8	卵塊17,鳴き声
モリアオガエル	20170528	14:00	高岡市	太田	ため池	14	5537-1061	A	40	3	卵塊3,鳴き声
ニホンアマガエル	20170528	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	10	田の用水
ニホンアマガエル	20171008		水見市	柳田	海浜植物園	14	5537-1090	B	3	1	鳴き声
ニホンアマガエル	20170615	14:10	水見市	富田		14	5537-1070	A	7	10	田
ニホンアマガエル	20170702	9:00	水見市	富田	トホ池	14	5537-1070	B	8	2	池
クサガメ	20170528	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	1	田の用水
クサガメ	20170924	11:30	水見市	上泉	泉川	13	5536-1789	D	7	4	川
クサガメ	20170405	13:00	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	2	池
クサガメ	20160924	12:00	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	2	池
クサガメ	20170528	12:30	水見市	鳥尾	鳥尾大池	14	5537-1070	B	10	2	池
クサガメ	20170417		高岡市	太田	ため池	14	5537-1061	A	40	4	池
ミシシippアカミミガメ	20170528	10:20	水見市	鳥尾	松太枝橋	14	5537-1091	A	1	3	川
ミシシippアカミミガメ	20170312	11:00	水見市	鳥尾	鳥尾新橋	14	5537-1090	D	2	1	川
ミシシippアカミミガメ	20170924	11:30	水見市	上泉		13	5536-1789	D	5	1	田の用水
ミシシippアカミミガメ	20170615	15:00	水見市	上泉	泉川	14	5537-1080	C	7	1	川
ミシシippアカミミガメ	20170312	12:50	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	3	池
ミシシippアカミミガメ	20170528	12:30	水見市	鳥尾	鳥尾大池	14	5537-1070	B	10	3	池
ミシシippアカミミガメ	20170528	12:30	水見市	鳥尾	鳥尾小池	14	5537-1071	A	11	2	池
ミシシippアカミミガメ	20170702	11:20	水見市	鳥尾	新池	14	5537-1071	A	12	2	池
ミシシippアカミミガメ	20170405	12:00	水見市	下田子	大谷池	14	5537-1070	A	15	3	池
ヒガシニホントカゲ	20170720		水見市	柳田	海浜散策道	14	5537-1090	B	2	1	亜成体1
ニホンカナヘビ	20170528	10:20	水見市	鳥尾	松太枝橋	14	5537-1091	A	3	1	川原
ニホンカナヘビ	20170506	11:40	水見市	鳥尾	新池	14	5537-1071	A	12	1	道
ニホンカナヘビ	20170312	13:00	水見市	富田	奥の谷池	14	5537-1070	D	15	1	観察路
ニホンカナヘビ	20170528	14:00	高岡市	太田	ため池	14	5537-1061	A	40	2	草原
ニホンカナヘビ	20170924	12:20	水見市	小竹	小竹川	14	5537-1050	C	47	1	田
ニホンカナヘビ	20170924	14:45	高岡市	太田		14	5537-1061	C	48	1	畑
ニホンカナヘビ	20170930	10:00	水見市	小竹	小竹川	14	5537-1050	C	53	1	道
ニホンカナヘビ	20170930	10:00	水見市	小竹	泉川	14	5537-1040	B	56	2	道
ジムグリ	20170924	14:45	高岡市	太田		14	5537-1061	C	48	1	畑
アオダイショウ	20170621		水見市	柳田	海浜植物園	8	5537-2000	D	3	1	道
シマヘビ	20170312	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	B	2	1	(死体)
シマヘビ	20170528	11:30	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	1	川
シマヘビ	20170528	13:30	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	1	池
ヒバカリ	20170924	17:00	水見市	鳥尾	新川	14	5537-1080	A	3	1	川
ヤマカガシ	20160924	12:00	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	1	幼蛇1
ヤマカガシ	20170615	13:30	水見市	富田	乱橋池	14	5537-1070	B	8	1	道
ニホンマムシ	20170924	14:45	高岡市	太田		14	5537-1061	C	48	1	畑

ものの、仏生寺川(福田ら, 2013)と今回の泉川のいたるところに生息していることが判明し、在来水生生物への影響が懸念される。

### 謝辞

情報を提供していただきました西岡満、布村昇、鈴木瑞磨、魚津水族館の稲村修、不破光大、齋藤真里の各氏、アドバイスをいただいた西岡満氏に厚くお礼申し上げます。

### 引用文献

- 福田 保・澤田研太・堺 康浩・南部久男, 2013. 仏生寺川の両生類・爬虫類, 富山の生物, 52: 45-52.
- 環境省, 2014. レッドデータブック2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-3 爬虫類・両生類, 154pp.
- 西岡 満, 2011. 二上山の両生・爬虫類, 二上山の自然と文化, 66-69. 二上山総合調査研究会, 富山県, 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブックとやま2012-. 77-86.